

上原賞受賞者

(五十音順)



受賞者氏名：中山 敬一（ナカヤマ ケイイチ）医学博士

所属機関および役職：東京科学大学 総合研究院 高等研究府 特別栄誉教授

略歴 1986年3月 東京医科歯科大学 医学部 医学科 卒業

1990年3月 順天堂大学 大学院医学研究科 修了

1990年4月 理化学研究所 フロンティア研究員

1990年12月 ワシントン大学 医学部 博士研究員

1995年7月 日本ロシュ研究所 主幹研究員

1996年10月 九州大学 生体防御医学研究所 教授

2023年4月 東京医科歯科大学 高等研究院 特別栄誉教授

2024年10月 東京科学大学 総合研究院 高等研究府 特別栄誉教授

受賞対象となった研究業績

「哺乳類における細胞周期制御機構の解明」

哺乳類における細胞周期制御機構を解明し、身体サイズが細胞周期によって決定されること、さらにその異常が発がんの直接原因となることを世界で初めて実証した。特に、CDK阻害因子 p27 欠損マウスによる巨大化と自然発がんの発見は、細胞周期と腫瘍形成の因果関係を示す画期的成果である。さらに、p27 の分解因子 Skp2 やがん抑制因子 Fbxw7 を同定し、がん幹細胞の静止期維持と治療抵抗性の分子基盤を明らかにした。Fbxw7 を標的とした「静止期追い出し療法」は、がん根治への新たな戦略として注目されている。また、クロマチンリモデリング因子 CHD8 の機能不全が自閉症を引き起こすことを実証し、神経発達障害の分子病態解明にも貢献。さらに、全タンパク質の絶対定量を可能にする iMPAQ-T 技術を開発し、がん代謝の弱点を明らかにするなど、生命科学と医療応用の両面で卓越した研究業績である。